

## 平成28年度第2回長浜市健康づくり推進協議会 会議録

日 時：平成29年3月2日（木）14：00～15：35

場 所：ウェルセンター2階会議室

### 【出席者】

湖北医師会：手操会長

湖北歯科医師会：川瀬副会長

湖北薬剤師会：山内監事

市立長浜病院：徳田看護科長補佐

長浜赤十字病院：大橋地域医療連携課長

湖北健康福祉事務所：瀬戸所長

事務局：健康推進課 織田次長・横田参事・藤副参事・小寄副参事、前田副参事・伊吹主幹・大谷主査  
金戸主事

長浜市連合自治会：川合理事

長浜市社会福祉協議会：

神照郷里地域包括支援センター 川崎所長

長浜氏健康推進員協議会：瀧本桂子

### 【代理出席】

長浜市立湖北病院：中川課長

### 【欠席者】

長浜市老人クラブ連合会：北川副会長

長浜市小中学校教育研究会養護教諭部会：宮村養護教諭

健康づくり0次クラブ：大橋副理事長

長浜市民生委員児童委員協議会：早川副会長

### 【要点録】

#### 1 開会（挨拶：次長）

#### 2 議事

「健康ながはま21」第3期（平成26～30年度）

①平成28年度の実施結果（見込み）について（資料1）

②健康推進課事業について（資料2～5）

#### 【事務局説明】

①「健康ながはま21」第3期3年目となる現在の目標達成状況について、資料1に基づき報告しました。

会 長：資料1-1 健康寿命について、今日厚生労働省が発表した平成27年国の平均寿命男性80.75年、女性86.99年であり、さらに更新された。平均寿命と健康寿命の差を縮めることが大切です。資料1のP6喫煙対策について、後ほど市の方から取組を紹介していただきますが、オリンピックもあり国をあげて喫煙対策に力を入れていますので、長浜市もぜひ進めてほしい。未成年者の喫煙を防ぐ個人で心がけることとして、「たばこを売る時は未成年者でないことを確認するよう努める」とあるが、そもそも未成年者の喫煙は法律で禁止されており、「たばこは未成年者に売らない」と訂正してください。P10 歯科の状況において、平成26年の12歳児の1人当たりのむし歯の本数は全国で1.00本であり、さらに向上しました。滋賀県は全国でも良い方なので、長浜市は全国より高くても県内で低い現状となっています。（参考：平成27年長浜市0.98本）

委員：がんの受診率はわからないようですが、P2をみると継続受診の啓発等されているのですね。

事務局：本年度はがん検診受診意向調査を行い、受診勧奨を行いました。

会長：受診勧奨としては、健診を受けることも大切ですが、それより精検の受診の方が大切で、要精検者の受診勧奨を続けてください。

委員：各分野で市民への出前講座はたくさんされているが、地域医療の分野で0件となっていることが気になります。

事務局：市民からの要望がなかったため0件となっていますが、他の出前講座を実施した際、休日急患診療所やかかりつけ医の啓発のチラシを配布して啓発しています。

委員：ここに朝食摂取率を示されているが、朝食を食べない子というのが現にいるということで、県でもえにしの会が子ども食堂の開設をすすめている。子どもは悪くなく、親の責任で食べられない子どももいるのだが、地域ではそれは親の責任だからほおっておけという意見もある。構築されたサービスに乗れる人は良いが、乗れない人に対して、自治会や地域で何ができるのか課題と考えています。今後、地域はどうなっていくのか、社会的に手を打っていくことが必要です。市も既にいろいろな施策をされており、やればやるだけコストもかかり、健康づくりのため電話までかけていただいています。健康指標をあげておられることをもっと出していきまじだと思ひます。市の立場があろうかと思ひますが、地域としては、例えば、親としてしっかりやるよう積極的指導をしてほしい。大上段に乗って、強制力を持つてほしい。

事務局：市民に健康づくりをうまくPRできていません。地協へアプローチを行っているところでは。

会長：朝ご飯が食べられない子どもは、親の責任でいます。給食費無料と市長は英断をされましたが、一部の子にとっては大切では。

会長：80年代肺がん検診は役に立たないとアメリカではわかってきており、不要な施策といわれ、アメリカでは喫煙対策が有効だと取り組まれている。

#### 【事務局説明】

②健康推進課事業について、下記の事業を報告しました。

- ・健康づくり事業(パートナーシップ事業)(資料2)

#### 【事務局説明】

②健康推進課事業について、下記の事業を報告しました。

- ・喫煙対策事業(資料3)

委員：県の方でも喫煙対策は職域連携等で実施しており、市と連携していきたい。今、企業では健康経営という視点を重視されてきており、本年度講演会も行った。長浜駅の喫煙所で屋外での受動喫煙が気になります。高校生もすぐそばを登校していますし、観光のまちとして観光客にもどうかと思ひますのでご検討ください。

会長：イオン等の出入り口の灰皿も、行政から言っただきたい。

委員：受動喫煙のイエローカードもあります。

会長：私の名刺の裏にも禁煙マークを印刷していますが、今おっしやったイエローカードも市民運動をしてどうですか。

ポスターを健康づくり推進協議会の名前で作成させていただくこと、本協議会会長名でポスターを送付させていただくこと、各所属団体でポスター掲示と啓発をいただくことを確認。

### 【歯科保健専門部会長説明】

- ②健康推進課事業について、歯科保健専門部会長川瀬委員から報告いただきました。
- ・歯科保健事業（資料4）

会 長：歯科保健事業について、長浜市健康づくり推進協議会歯科保健専門部会としての資料として連携するのは良いが違和感を覚える。

委 員：関係機関が集まって情報交換をすることの大切さを先日の部会で確認した報告です。

### 【事務局説明】

- ②健康推進課事業について、下記の事業を報告しました。
- ・休日急患診療所、小児救急医療体制について（資料5）

会 長：地域医療の休日急患診療所の利用状況において、今回長浜病院の小児診療体制により日赤で小児救急を多く担ってもらっていますが、今以上に休診の利用をすすめるように考えていかないとと思います。小児の利用は増えていますが、内科は普段から病院にかかっている方が、病院を受診する事情もありますのでなかなか難しい。小児の在宅医療はマンパワーが不足、手薄であり課題と考えています。湖北医療圏域内の医療自足率は高く、在宅見取り率は全国でも3万人以上の市で米原はトップテン、長浜市もこれだけの人口規模でトップ〇十番ということで、誇るべきものである。しかし今後、状況も変わっていくので継続していくのは難しく、病診連携が重要となってきます。また、地域医療支援センターでは、在宅、かかりつけ医を啓発しています。湖北病院では、余呉の診療所に医師が常駐していないこともあり、訪問医療をしていますが、病院の先生に負担になっていることも課題です。広島県尾道市に合併されたある町では、病院を中心として単価の高い医療をされたが全国的にみて見本にならなかった例があります。

### 3 その他

#### 【事務局説明】

新規事業を報告しました。

- ・新生児聴覚検査費補助事業、子育てコンシェルジュ事業について（資料6）

### 4 閉会（挨拶：健康推進課次長）